

がんばる地域の取組み紹介



退院後の療養支援に向けた専門職と地域住民による検討

		団体名	大宮地区地域ケア会議
		問合せ先	大宮地区地域包括支援センター Tel 61-1789
		参考情報	『在宅療養のしおり』（本人・家族対象）、『看取りを支えるそれぞれのお仕事について』（専門職対象）、2部のパンフレットを作成。

きっかけは このままでは、2025年に対応できない

これまで医療と介護の連携において、退院させる側・地域で受け入れる側、双方の現場の専門職から、在宅療養や看取りの支援の困難さについて声が挙がっていた。2025年に向けて、病床数の減少と在宅療養患者の増加が見越されており、『地域全体で看取りの文化を構築すること』、『多職種連携』、『地域に浸透させること』に取り組む足がかりとして、大宮地区の専門職間の意見の集約と情報共有を図ることとなった。

取組み 『在宅医療推進に向けて、つながろう大宮地区』

『在宅医療推進に向けて、つながろう大宮地区』をテーマに、計2回の地域ケア会議と住民参加型シンポジウムを実施した。地域ケア会議では、専門職間で、在宅療養と多職種連携の重要性を確認し合い、情報共有を行った。その会議で得られた情報を基に、在宅療養や看取りを支えるガイドブックとして、パンフレットを2種類作成した。大宮地区の住民や居宅介護支援事業所、医療機関の地域連携室などに配布している。



どんなことが書いてあるの？ まずは、これだけ整えれば安心！

【在宅療養のしおり】

- ★6つのポイント『食事』『排泄』『睡眠』『身体の清潔』『医療』『楽しみ』について。
- ★「在宅療養を支えるための、あなたのチーム」の一覧表（名刺を貼れるページ）。

【看取りを支えるそれぞれのお仕事について】

- ★看取りのプロセスの中で自己決定を支える場面のフローチャート。

インタビュー 古賀総合病院 地域医療連携室のみなさんより

退院準備に向けてイメージしやすく、地域に帰られる患者さんに対して、実際の説明の場で頻繁に活用しています。何がどこに書いてあるかよく分かるため、患者さんから良い反応を頂いています。当職員の在宅療養支援の勉強にも役立っています。

冊子数に限りがあるため、有効に利用させてもらっています。